# Coco

# ポケット型補聴器

取扱説明書

□CC-V

□CC-PV

ReSound

rediscover hearing

管理医療機器

一般的名称　　ポケット型補聴器

販売名　　ポケット型補聴器Coco

製造業者名　　マキチエ株式会社

■　このたびは弊社の補聴器をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

■　ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、安全に関する注意事項を必ず守って正しくご使用ください。

■　取扱説明書は大切に保管し、必要な時いつでも参照できるようにしてください。

# 目次


安全上のご注意
補聴器の取り扱い上の注意 4
電池の取り扱い上の注意 9
付属品
付属品の確認 12
使用電池 13
各部の名称
14
使い方
ご使用前の準備 16
電池の交換方法 19
操作方法 20
日常のお手入れ 25
こんなときは
26
仕様
27

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

ご使用の前によくお読みの上
正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

| | |
|---|---|
| | この表示の欄は、死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。 |
| | この表示の欄は、傷害を負う可能性また物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵柄の一例です）

| | |
|---|---|
| | 記号はしてはいけないこと「禁止」を表しています。<br>（左図の場合は分解禁止） |
| | 記号はしなければならないこと「強制」を表しています |
| その他の絵表示例 | 破裂 強い磁場 |

# 補聴器の取り扱い上の注意

## ⚠ 警告

必要以上の音量で使用しないでください。聴力低下の原因にもなります。

本体および電池を口に入れない。

本体および電池は幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと重傷をおったり、死亡する恐れがあります。大変危険ですので、絶対口に入れないでください。万一、飲み込んでしまった場合は、すぐに病院に連絡を取り、適切な処置を受けてください。

## 警告

下記の機器をご使用される場合は補聴器を絶対に使用しないでください。

また下記の機器に補聴器を近づけないでください。補聴器が強大音を発し破壊されたり、お耳を痛める恐れがあります。

高電圧を発生する場所、各種溶接機器、誘導型溶鉱炉、発電施設、レーダー基地、電気ショック療法、強い磁気を発生する機器の設置場所、高周波治療器、神経電気刺激療法、イオン放射線療法、磁気温熱治療器、小型無線機等、MRI、磁気マット

イヤホンコードなどが首に巻きつくと窒息の危険性があります。引っかかったり、扉に挟まれたりすると大変危険です。周囲のものに十分注意してください。

# ⚠ 注意

ご自分の補聴器を他の人に使わせないでください。

この補聴器は、使用される方の聞こえの状態に調整されています。他の人が使うと、良く聞こえなかったり、うるさいだけだったり、聴力の低下などの原因となります。

下記の機器をご使用すると、雑音の影響を受ける恐れがあります。音がする時には機器を補聴器から離してください。故障では御座いません。

ＩＨクッキングヒーター、磁気まくら、空港の金属探知システム、電気毛布、店舗の盗難防止システム、ＣＴスキャン、電気カーペット、電磁波対策のされていない蛍光灯等。

シンナー、ベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。お手入れの際は乾いた布かティッシュ等で拭き取ってください。

## ⚠ 注意

補聴器を装用してから耳に炎症等が生じたり、急に耳の聞こえが悪くなった場合はただちに補聴器の使用を中止し医師の診察を受けてください。また耳の治療が必要になった場合も補聴器の使用を中止し医師の指示に従ってください。

本体の分解や改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。

強い衝撃、水または他の液体に浸すと故障の原因になりますので、絶対に避けてください。

はじめて補聴器をお使いになる場合、最初から長時間のご使用はお避けください。慣れるに従って使用する時間を増やして行くようにしてください。

入浴・洗顔・水泳使用しないでください。

# ⚠ 注意

高温多湿の場所での長時間の使用は避けてください。使用後の保管はドライケースに入れ室温で保管してください。

水に落とした場合すぐに電池をはずし、続けてのご使用はお避けください。お買い求めの販売店へご相談の上、点検へお出しください。

ペットに注意してください。補聴器で遊んでかじるなど補聴器を壊すことがあります。置き場所などに注意してください。

## ご不要になった補聴器について

ご不要になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

# 電池の取り扱い上の注意

## ⚠ 警告

絶対口に入れないでください

電池は幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲み込むと重傷をおったり、死亡に至る恐れがあり非常に危険です。万一飲み込んでしまった場合は、早急に病院に連絡を取り適切な処置を受けてください。

電池を加熱、火に入れるなどすると破裂する恐れがありますので絶対にしないでください。



未使用の電池の保管は直射日光・高温・高湿の場所に保管しないでください。消耗を早めたり故障の原因となります。

# ⚠ 注意

電池のプラス（＋）マイナス（－）を逆に入れないでください。

使い切った電池は本体に入れたままにせず、必ず取り出してください。長い間放置しておくと液漏れ等の為、本体をいためたり電池が膨張して本体から取り出せなくなることがあります。電池内部の液体が、目に入ったり、皮膚や衣服に付着した場合は、けがや失明などのおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。

必ず指定されたタイプの電池を使用してください。

## ⚠ 注意

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものと接触しないように、テープなどで端子部を絶縁してください。ネックレスなどの貴金属類や他の金属製のものと一緒に携帯・保管しないで下さい。ショートの原因となります。

### 使用済みの電池について

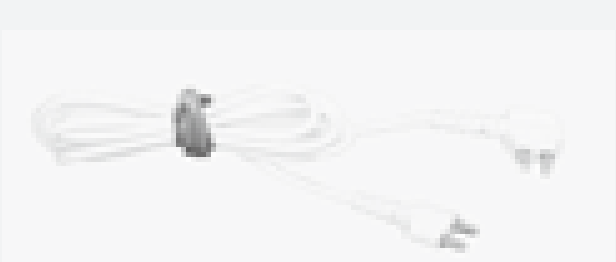
使用済み電池は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

# 付属品

## 付属品の確認

イヤホン
(ME101)

イヤホンコード



アルカリ単 4 電池

耳せん



※　実際の電池と耳せんの種類が異なることがあります

ジョイント

ストラップ

# 使用電池

アルカリ単四電池（LR03）　1.5V

必ずアルカリ電池をご使用ください。その他の電池をご使用されると、動作が不安定になったり使用時間が短くなる可能性があります。

# 電池寿命の目安

| | |
|---|---|
| CC-V | 220 時間 |
| CC-PV | 150 時間 |

注意点　電池寿命は調整や使用環境によって異なります。

# 各部の名称

マイクロホン（内蔵）
ボタンロック
イヤホン
コード
電源スイッチ
ボリューム
表示画面
（プログラム・音量
ロック状態・電池残量）
ON⇔OFF
Coco
プログラム
音量
+
−
耳せん
ジョイント
イヤホン
電池ブタ（裏側）
プログラム
切り替え
スイッチ

# 電池ブタの内部

# イヤホン

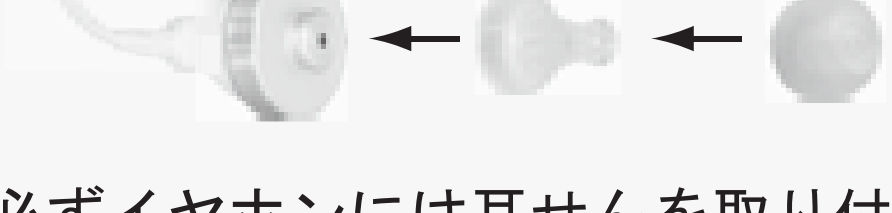
# ご使用前の準備

## イヤホンの準備

ご使用になられる前にイヤホンに耳のサイズにあったジョイントおよび耳せんをつけてください。耳せんがゆるいとハウリング（ピーピー音）の原因となります。

１　イヤホンにジョイントを取り付けてください。

２　ジョイントに耳せんを取り付けてください。



※　必ずイヤホンには耳せんを取り付けてご使用ください。

# イヤホンコードの準備

ご使用になられる前に本体、イヤホンコードを接続してください。

1　イヤホンコードが上を向くようにして本体に挿し込んでください。
※ピンの太さが異なるため上下逆にはつけられません。両側とも同じ形のため左右どちらにもつけることはできますが、右側は左右バランス機能があるため片耳の場合は左側につけることをおすすめします。

右側　　左側

# ストラップの取り付け

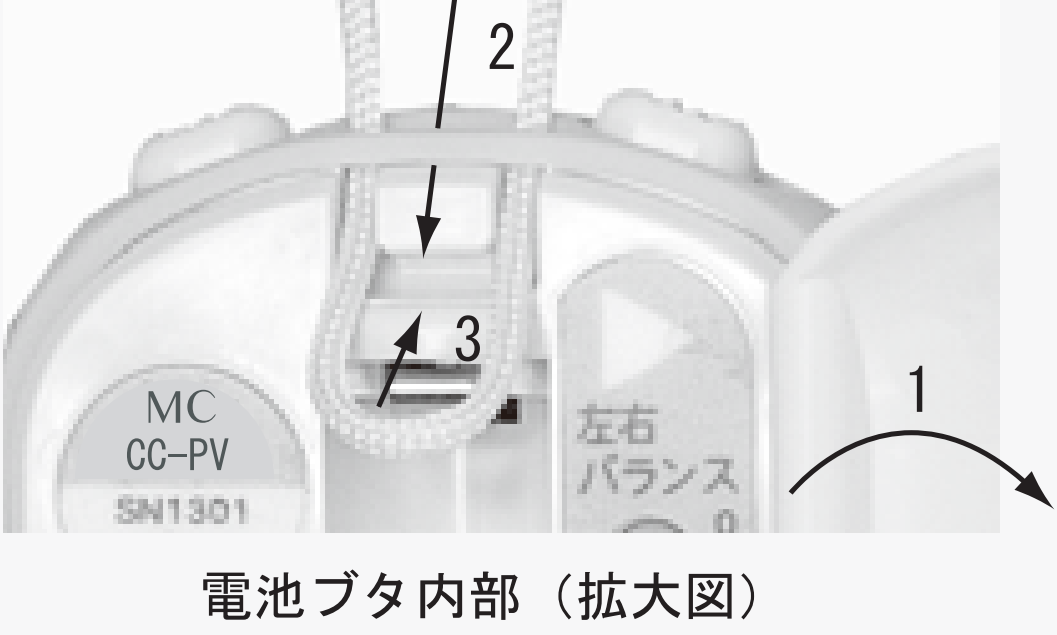
補聴器を首から下げる場合、付属のストラップをご使用ください。

1　電池ブタを開けてください。

2　上部のカラーバンドの細長い穴にストラップを通してください。

3　内部のフックに引っ掛けてください。

4　電池ブタを閉じからご使用ください。




電池ブタ内部（拡大図）

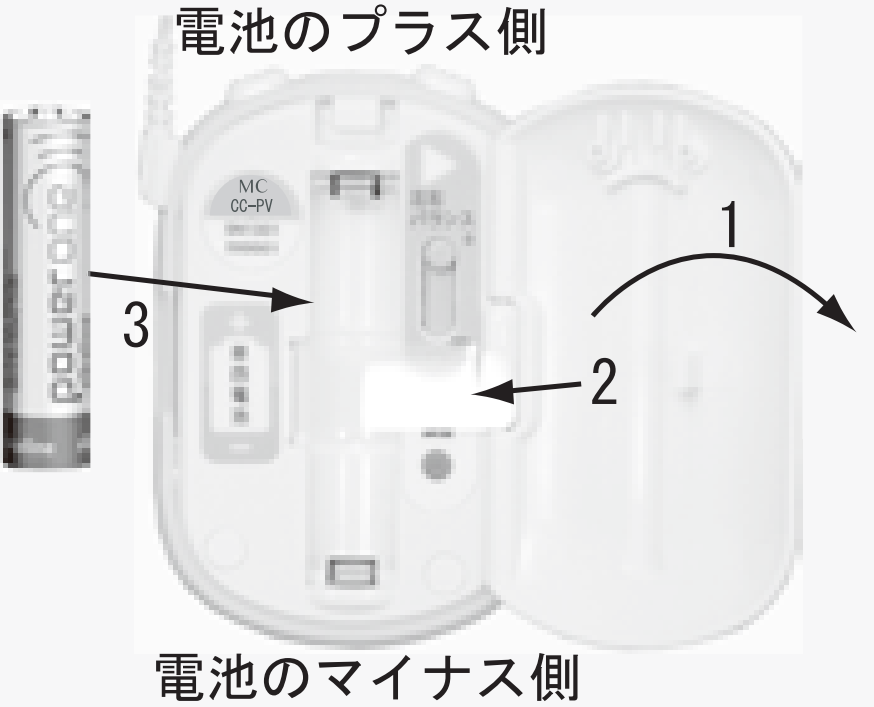
# 電池の交換方法

1　電池ブタを開いてください。

2　電池が入っている場合は取り出し用リボンを引っ張り、電池をはずしてください。

3　電池収納部に電池を入れてください
電池収納部の横の図を参考に上下を合わせて入れてください。

4　電池ブタを閉めてください。



# 操作方法

## 電源の入れ方と切り方

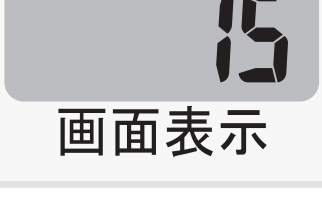
本体上部

電源スイッチを「ON」の位置にすると電源が入ります。電源が入ると画面が点灯します。
電源スイッチを「OFF」の位置にすると電源が切れます。

## ボタンのロックと解除

本体上部

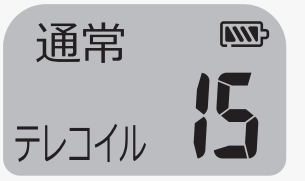
スイッチを「鍵マーク」の位置にすると「プログラム切替」ボタンおよびボリュームが無効になります。
ロックされると画面に鍵マークが表示されます。（左図）




画面表示

# プログラム切替

ボタンを押すと下記のモードに切り替わります。「ププ♪」というお知らせ音が鳴り、切り替わったプログラムが画面に表示されます。

| | プログラムの内容 | 画面表示 |
|---|---|---|
| 通常 | マイク入力<br>雑音抑制あり | |
| 音楽 | マイク入力<br>雑音抑制なし | |
| テレコイル | テレコイル入力 | |
| 通常 /<br>テレコイル | マイク入力および<br>テレコイル入力<br>雑音抑制あり |  |

※　プログラムは無効にすることが可能です。
お買い求めの販売店にご相談ください。

# ボリューム

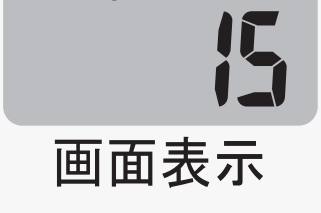
ボリュームを上げる場合は上のボタンを押してください。

ボリュームを下げる場合は下のボタンを押してください。

ボリュームの数値が画面に表示されます。

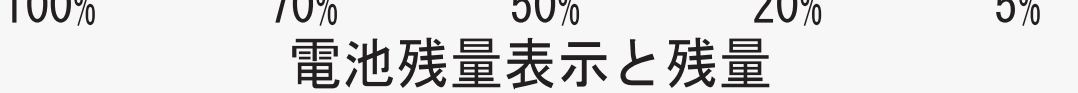
画面表示

# 電池残量




画面表示

ご使用の電池の残量が画面に表示されます。目盛りが減る、または「ププ♪」と3回お知らせ音がなりましたら電池の交換をお願いいたします。




電池残量表示と残量

# 左右バランス調整

こちら側につけたイヤホンの音量は変わりません。

こちら側につけたイヤホンの音量が下がります。

左右の音量のバランスを変えることができます。左右バランスがついている側の音量が下がります。片側のみの音量が下がるため、左右をご確認の上ご使用ください。調整には専門的な知識と経験が必要ですので、お買い求めの販売店で調整してもらってください。絶対にご自分では調整しないでください。
※両耳でご使用の場合は、別途イヤホンとイヤホンコードが必要です。

# 音質調整

通常の画面

音質調整画面

音質調整切り替えボタンを押すと、音質調整画面に切り替わります。もう一度押すと通常の画面に戻ります。高音域、低音域、最大出力制限の調整と各モードの有効無効の切替が可能です。
調整には専門的な知識と経験が必要ですので、お買い求めの販売店で調整してもらってください。絶対にご自分で調整しないでください。

# 日常のお手入れ

- 補聴器はいつも清潔にしておいてください。ご使用後は、乾いた柔らかい布で油分や湿気を拭き取ってください。
- 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因になりますので、避けてください。
- シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。
- 補聴器を長期間使用しない場合は、電池を取り外し、高温多湿の場所を避け室温で保管してください。

# 故障と思った時の原因と対策

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ピーピー音がする | 耳せんが耳にきちんと入っていない | 耳せんを耳に正しく入れ直して下さい |
| きちんと入っててもピーピー音 | 耳せんの型または調整があっていない | お買い求めの販売店にご相談ください |
| 音が出ない<br>音が小さい | 電池が切れている | 新しい電池に交換する |
| | 音の出入り口にごみなどが詰まっている | 音の出口を掃除して詰まりをとる |
| | 電池の入れ方の間違い | 電池の向きを確認してください |
| 音が大きくなったり小さくなったりする | 電池の残りが少ない | 新しい電池に交換する |
| ボリュームを押しても音が上がらない<br>音が下がらない | ボタンのロックがかかっている | ボタンのロックを解除する |
| | ボリュームの故障 | お買い求めの販売店にご相談ください |

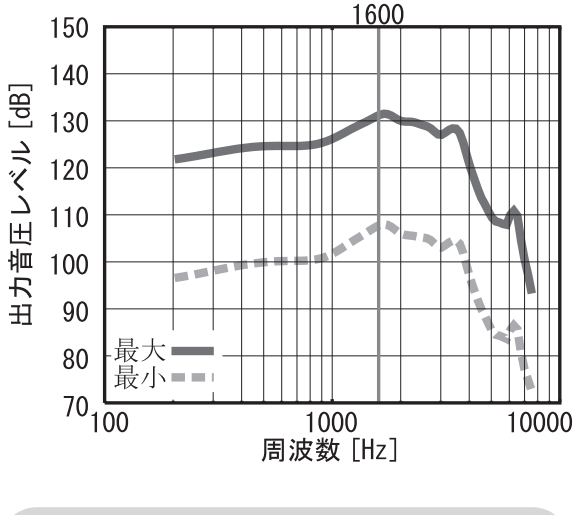
■上記の方法を試しても直らない場合は、器機本体の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。
■上記以外の症状もお買い求めの販売店にご相談ください。

# 仕様

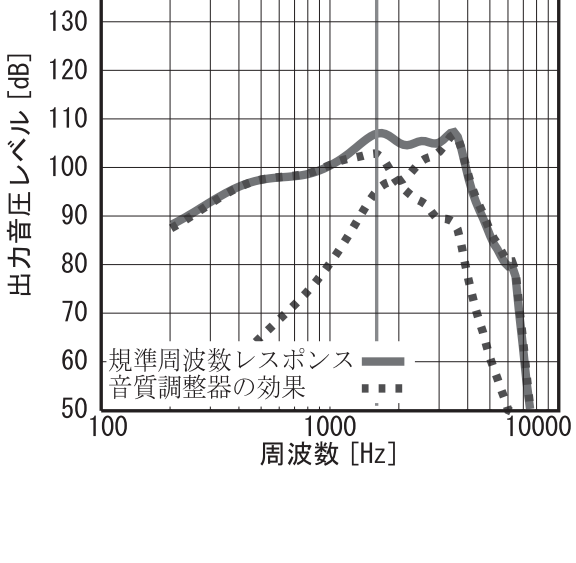
## CC-V

| | | |
|---|---|---|
| 規準周波数 | | 1600 Hz |
| 入力音の入射方向 | | 装用時に前方となる方向 |
| 90dB 最大出力音圧レベル | ピーク値 | 139 dB 以下 |
| | 500 Hz | 126 dB±5dB |
| | 1600 Hz | 132 dB±5dB |
| 最大音響利得 | ( 60 dB) | 55 dB±5dB |
| 等価入力雑音レベル | | 28 dB 以下 |
| 消費電流 | | 5.5 mA 以下 |
| 全高調波歪 | 500 Hz | 3.0 % 以下 |
| | 800 Hz | 3.0 % 以下 |
| | 1600 Hz | 3.0 % 以下 |
| 誘導コイル入力の最大感度 | | 85 dB±6dB |
| 誘導コイル入力の出力音圧レベルが最大感度となる方向 | | 垂直 |
| 使用電池 | | アルカリ単四電池 |
| 電池寿命 | | 220 時間 |

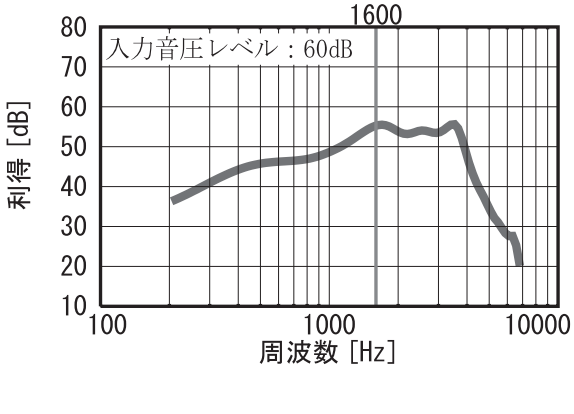
## 90dB 最大出力音圧レベル および出力制限の効果



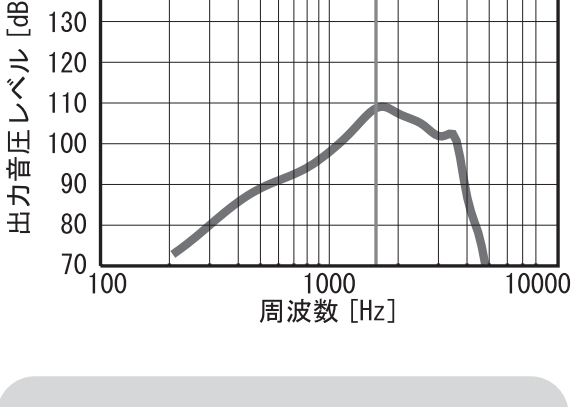

## 規準周波数レスポンス



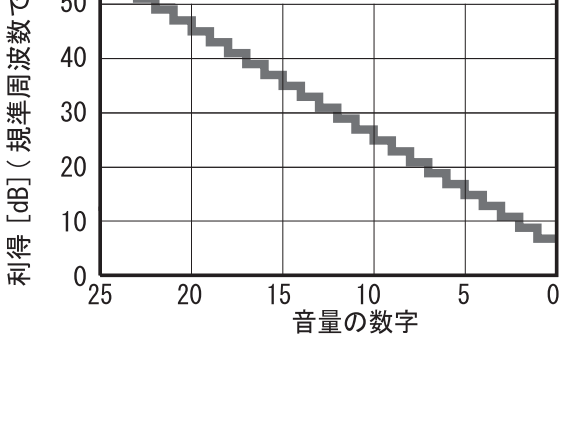

## 最大音響利得




## 誘導コイル入力の 周波数レスポンス




## 利得調整器の効果

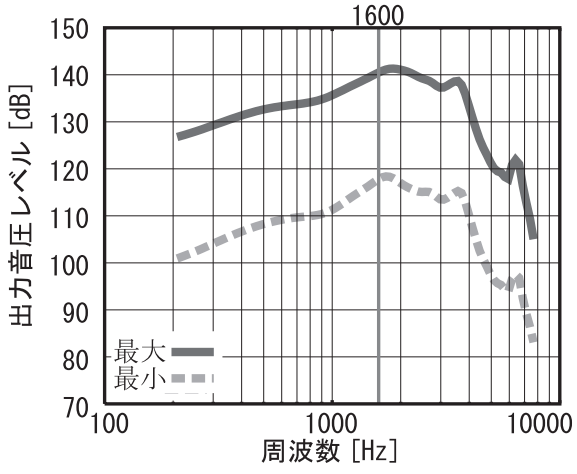


# 仕様

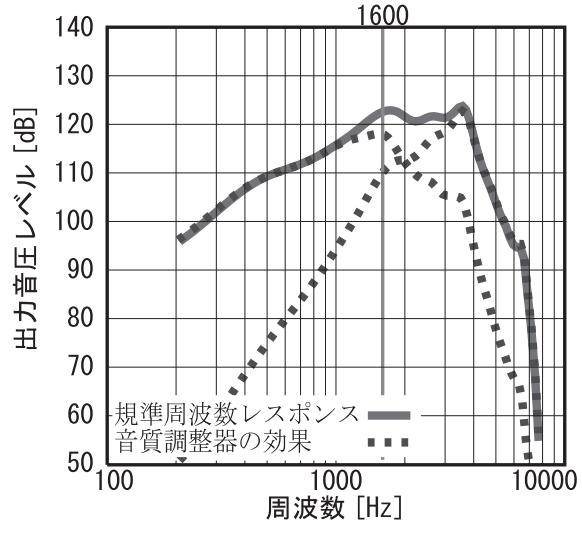
## CC-PV

| | | |
|---|---|---|
| 規準周波数 | | 1600 Hz |
| 入力音の入射方向 | | 装用時に前方となる方向 |
| 90dB 最大出力音圧レベル | ピーク値 | 147 dB 以下 |
| | 500 Hz | 134 dB±5dB |
| | 1600 Hz | 141 dB±5dB |
| 最大音響利得 | ( 60 dB) | 70 dB±5dB |
| 等価入力雑音レベル | | 28 dB 以下 |
| 消費電流 | | 13.5 mA 以下 |
| 全高調波歪 | 500 Hz | 4.5 % 以下 |
| | 800 Hz | 4.0 % 以下 |
| | 1600 Hz | 4.0 % 以下 |
| 誘導コイル入力の最大感度 | | 100 dB±6dB |
| 誘導コイル入力の出力音圧レベルが最大感度となる方向 | | 垂直 |
| 使用電池 | | アルカリ単四電池 |
| 電池寿命 | | 150 時間 |

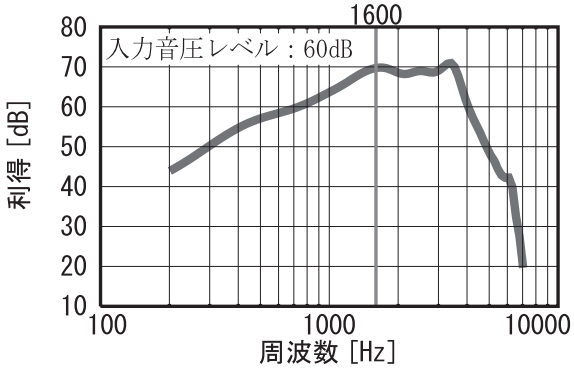
## 90dB 最大出力音圧レベル および出力制限の効果



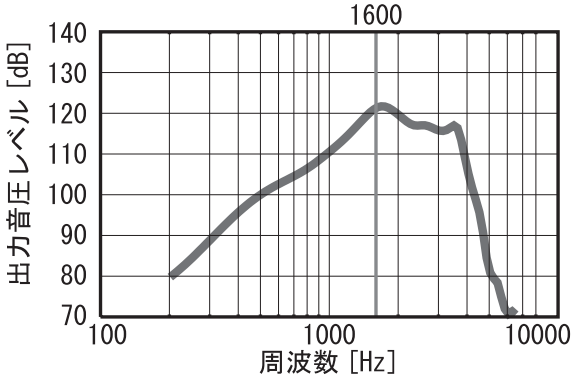

## 規準周波数レスポンス



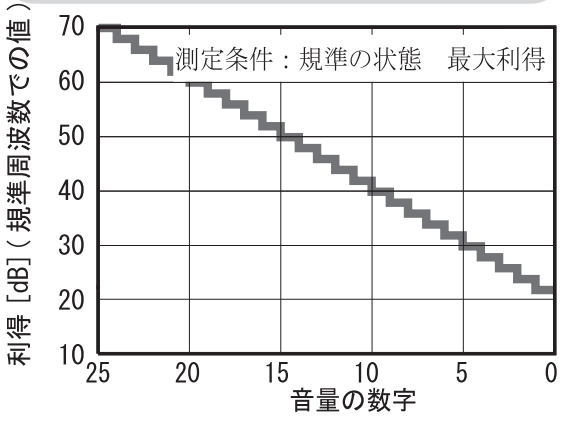

## 最大音響利得




## 誘導コイル入力の 周波数レスポンス




## 利得調整器の効果



発売元・お問い合わせ先

ジーエヌリサウンドジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3
MMパークビル8F

フリーコール 0120-921-310（TEL）
0120-636-392（FAX）

製造販売元

マキチエ株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-8-5

認証番号 225AFBZX00054A01